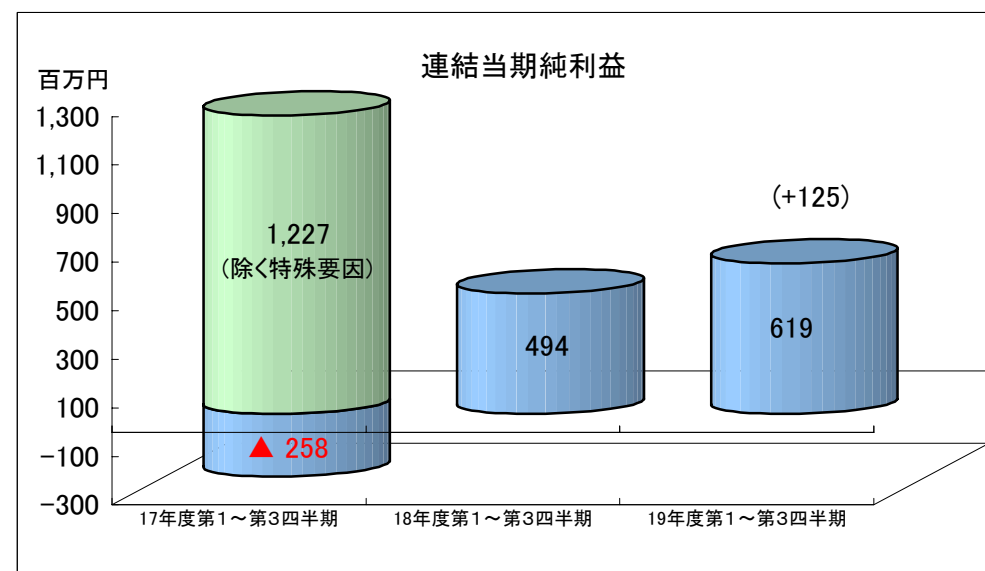
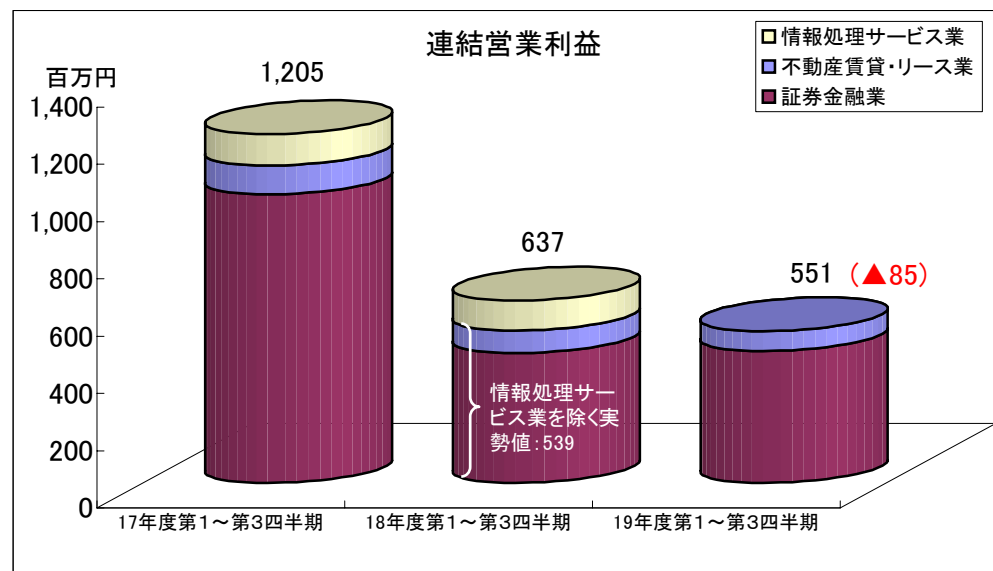
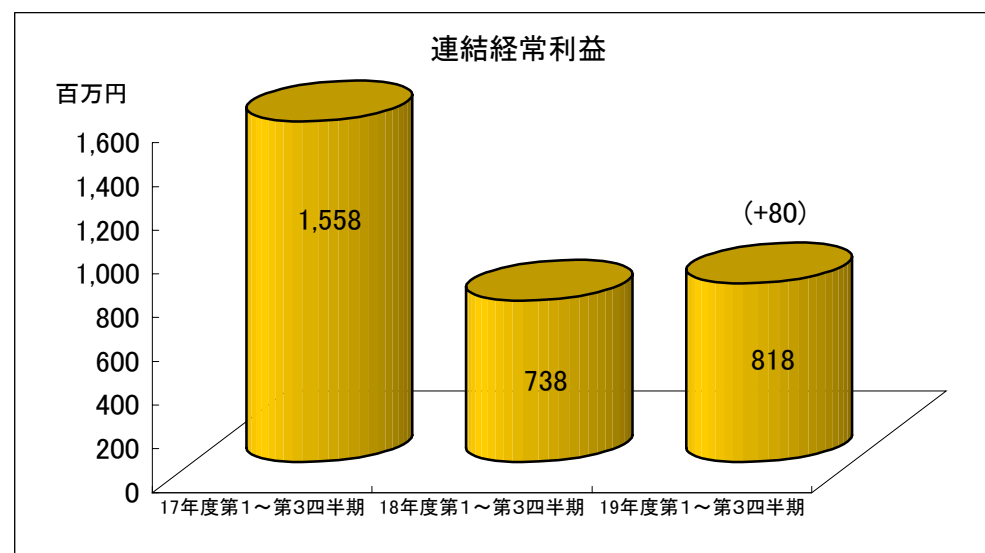
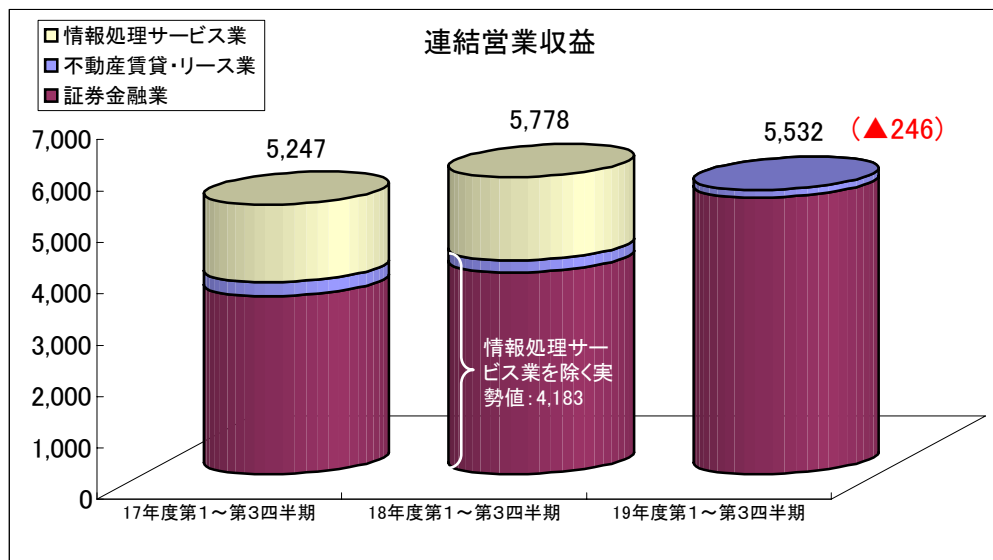


平成19年度 第1～第3四半期 連結決算の概要

☆営業収益は連結対象の異動から減収ながら、経常利益・当期純利益は増益(10.9%・25.3%)

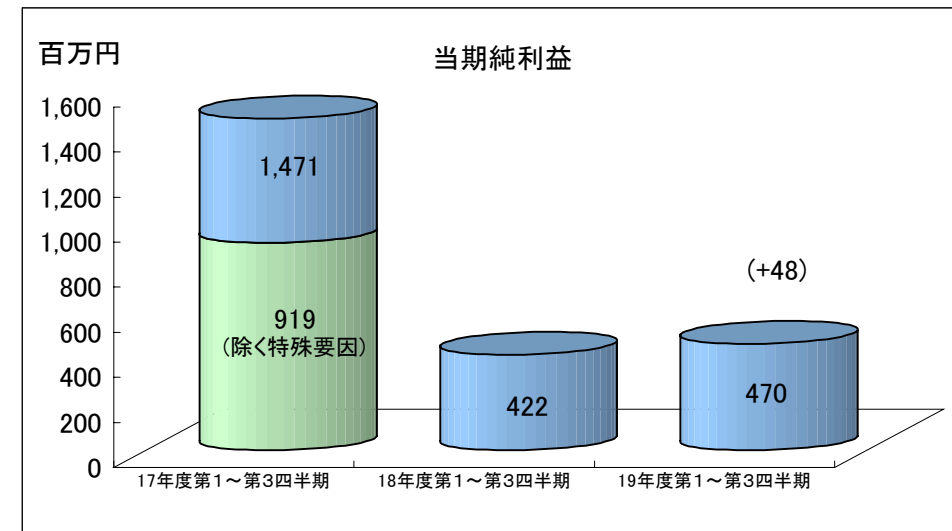
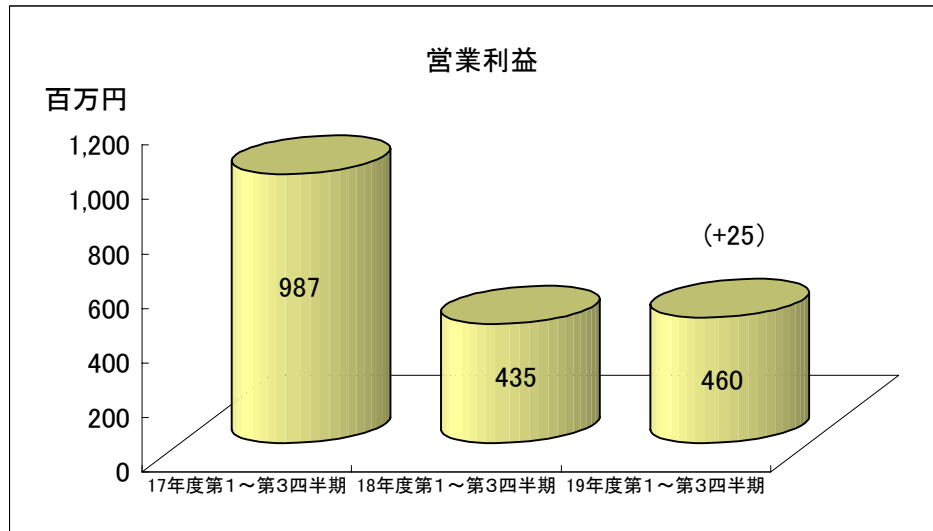
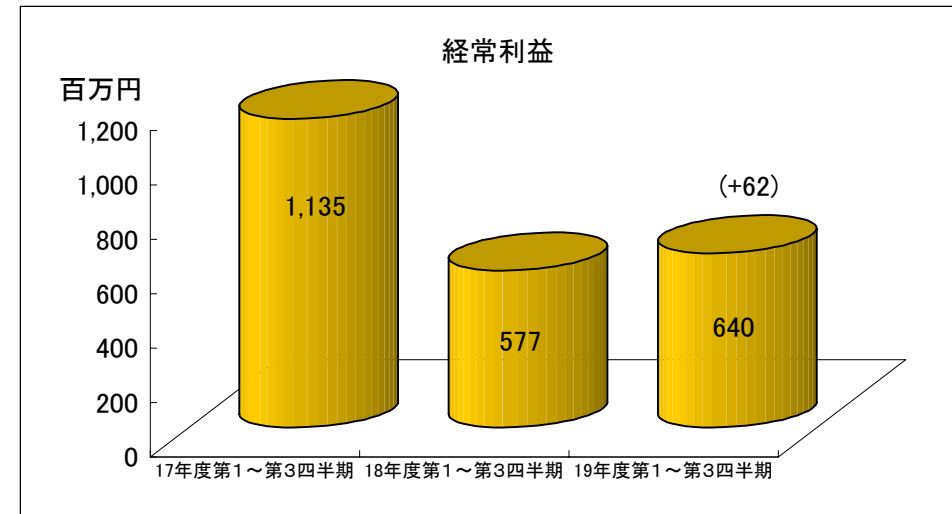
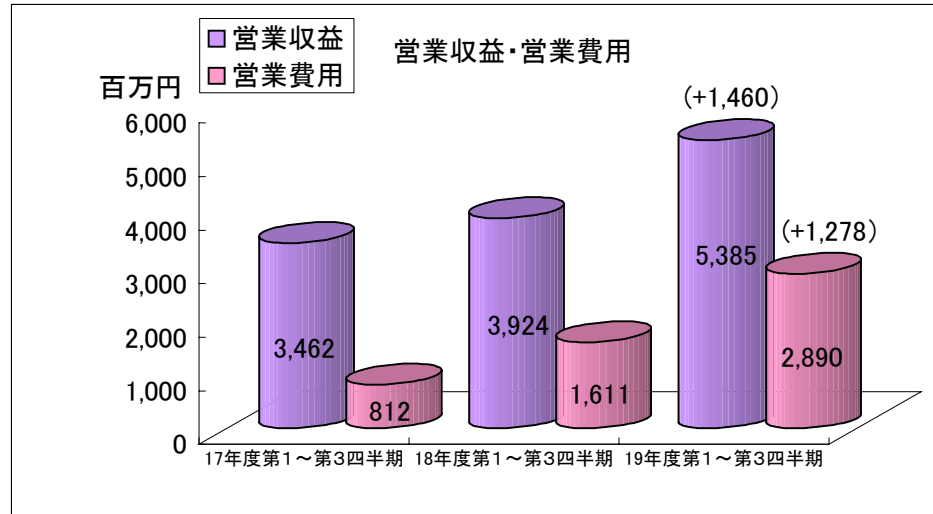


(注) 1 当年度第1四半期から、セグメント情報は次の区分変更等を行った結果、「証券金融業」と「不動産賃貸・リース業」の2区分になっております。
 ①ODKソリューションズが連結子会社から持分法適用会社へ異動したことに伴う「情報処理サービス業」の除外
 ②大証金ビルディングが行うリース業の金額的重要性が低下したため、「不動産賃貸・リース業」に集約
 2 だいこう証券ビジネスの子会社である日本クリアリングサービスにつきましては、だいこう証券ビジネスの持分法損益に含めて計算しております。

単体決算の概要

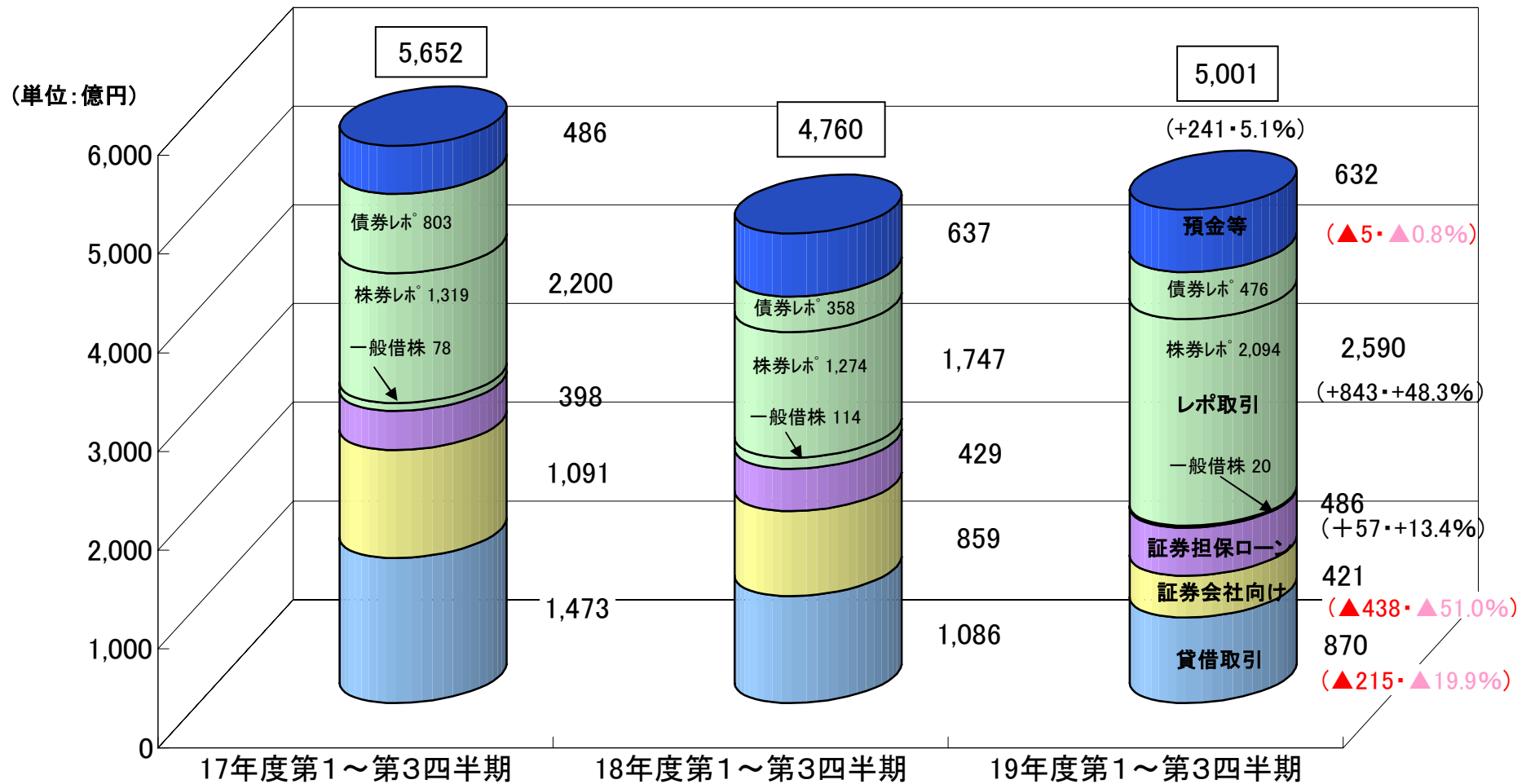
(1)収支状況

☆営業収益は株券レポ取引の増加を中心とした運用平残の増加に加え、運用利回りの上昇もあり増収(37.2%)
営業利益(5.8%)・経常利益(10.9%)・当期純利益(11.4%)はいずれも増益



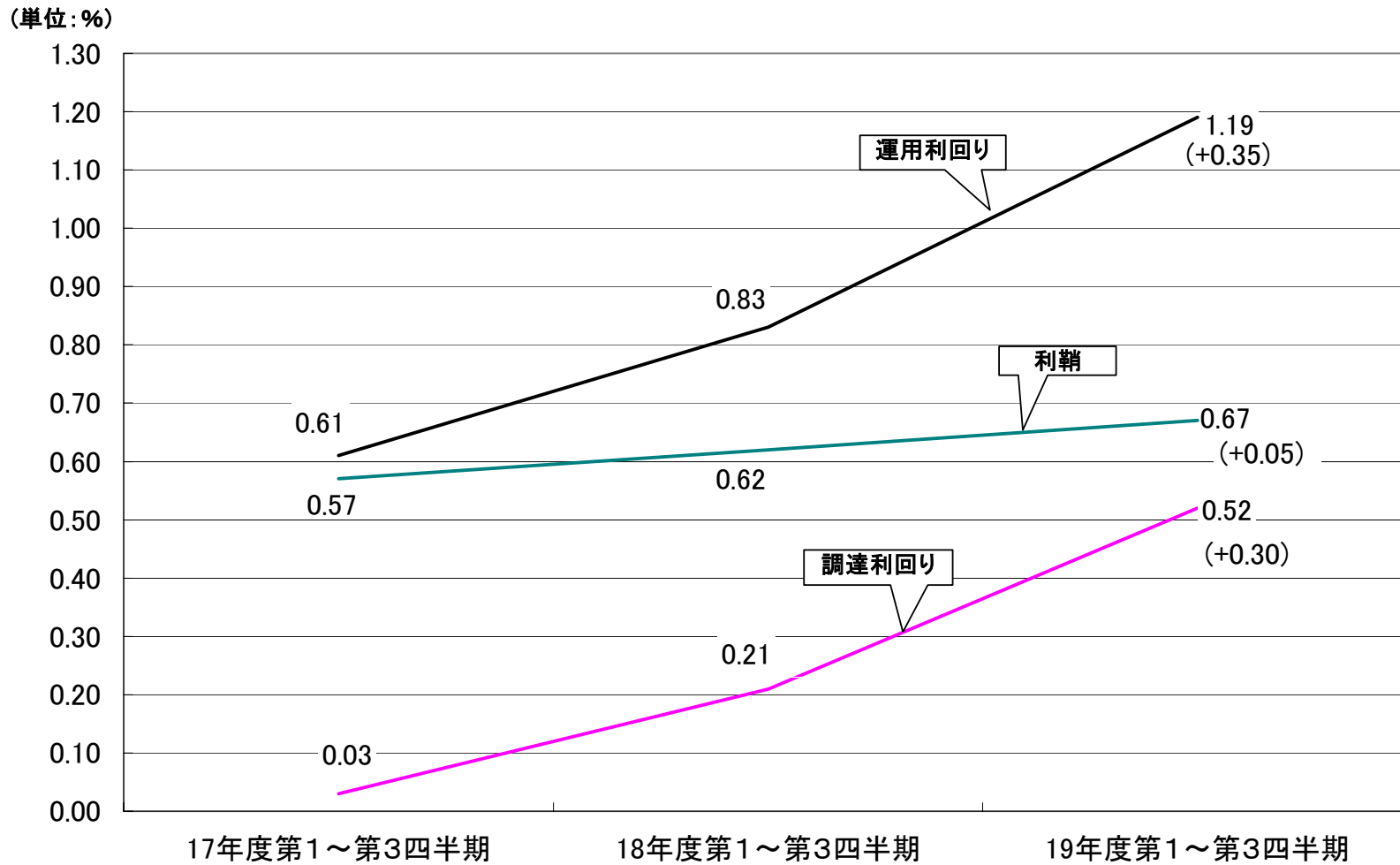
(2) 資金運用平均残高

☆株券レポ取引およびビジネスローンの増加を主因に増加



(3) 運用・調達利回り、利鞘

☆ 調達利回りの上昇が運用利回りの上昇比小幅に止まったため、利鞘は拡大



(4) 利鞘収入

☆信用サポートローンが減収となったものの、レポ取引、証券担保ローンの増収を主因に増収

